

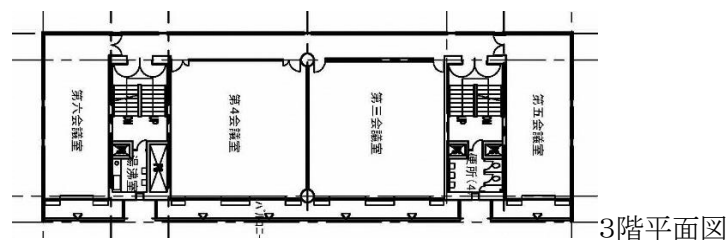
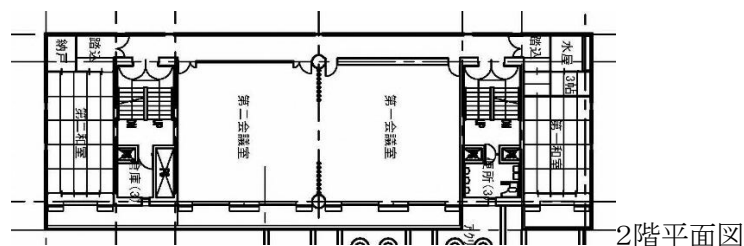
会議室の必要機能

各検討・議論を踏まえて、武蔵野公会堂の会議室棟の求められる機能について検討を行いたい。

1. 現状

施設運営者へのヒアリングや現地調査より、現状の課題は以下の通り。

- ① 第1～4会議室 4室、各室 約 80 m²
 - ・第1第2を合わせ 160 m²の大会議室として2室利用することができるが、遮音性能が悪いため別々の利用が厳しい場合もある。
 - ・拡声設備やインターネット環境等のインフラの充実が求められている。
 - ・ホールの控室としての利用もあるが舞台まで動線が遠い。
- ② 第5、第6会議室、2室、各室 約 50 m²
 - ・1室は設えとしてグレードの高い設定だが利用ニーズに合っているかは検討が必要。
 - ・小さな規模の会議室は、周辺の他施設(コミュニティセンター等)では、無料利用されていることから文化施設に併設されている会議室として他とは差別化を検討する必要がある。
- ③ 和室(第1第2和室、2室、20畳、茶華道水屋付と25畳)
 - ・利用率は約 50%にとどまっており、短歌・俳句、茶道等、文化活動としての和室利用は 4.8%(平成 30 年度)と非常に低く、多くが会議利用(63.7%)である。
 - ・日本舞踊や伝統芸能関係の文化活動における楽屋利用もある。
- ④ 共通(トイレ、バリアフリー)
 - ・トイレが階段の踊り場に設置されている。
 - ・エレベータがなくバリアフリー対応がなされていない。



2. 有識者会議や市民ワークショップの意見

① 有識者会議でのご意見

第2回、第3回における有識者会議での意見は以下の通り。

利用内容	・講演利用で、2階、3階をサテライト会場とするような利用がある。
動線	・2階の和室を控室にした時のセキュリティ面に懸念。
防音 ・音出し	・会議室を楽屋にする可能性があるのであれば防音は必須。
	・地下の機械室は全て設備を撤去して防音室として使えるようにできたら良さそう。音の出せる控室が設けられるべきで、会議の場もまた必要ということだが、音の面をしっかりとできれば会議機能は包摂できるのではないか。
	・防音設備を備えたスタジオを作れば十分会議室対応はできる。
機能	・ホールを活かせるようなミーティングスペースや控室やスタジオを付随させると良い。
	・会議室棟と言われているが、子ども達の新しい創造性を喚起するような施設とできないか。
	・改修前提で、音を出せる会議室や楽屋転用の会議室をきちんと作れば、この近辺で音楽の練習利用をしたい方が利用できるだろう。

② 市民ワークショップでのご意見

第1回市民ワークショップであげられた意見は以下の通りである。

規模	・100名規模の会議室があれば使い勝手が良い ・小会議室は不要。
機能	・音の出せる練習室が欲しい ・ピアノのあるリハーサル室 ・展示ができるイベントスペース ・会議室よりイベントスペースを
設備	・会議室の音響設備やプロジェクターは古い。 ・会議室の設備が問題
内装	・会議室は明るく元気になる色に。部屋ごとに特徴が違って良いかも

3. 周辺会議室の調査

・調査より、駅周辺(半径500m以内)に、小規模な会議室が多く配置されており、平均面積は、現公会堂の第5、第6会議室同等程度である。

4. 現会議室の利用者調査(参考)

・令和3年度公会堂会議室・和室利用者全件データより調査を行った結果、文化団体の利用は少なく、任意団体や営利団体のような民間利用者が約7割占めている(非営利団体 16%、不明 14%、官公庁 0.1%)。

5. 求められる機能

① 規模や数について

- ・現状の第1～第4会議室と同程度(約80㎡)の中～大会議室は、吉祥寺駅周辺に設置が少ないため、同サイズは必要。数室程度を設置することを検討する。
- ・現状の第5～第6会議室のような小会議室は、ホールの楽屋として利用できるサイズを数室程度検討する。
- ・和室も、ホールの楽屋として利用できるサイズを検討する。場合によっては、洋室に移動可能な畳を敷くことで和室化を検討することも考えられる。

② 機能

- ・文化施設(ホール)に併設されている会議室として、楽屋利用やリハーサル利用も加味した遮音性能のある音出し可能な部屋を設置検討する。
- ・設備の見直しを図り、ホールのサテライト会場など、配信などのニーズにも対応できる機能を検討する。

③ 配置・動線

- ・文化施設(ホール)に併設されている会議室として、ホールの楽屋利用、リハーサル利用を考慮して、舞台に近い配置や舞台とスムーズに繋がる動線を検討

④ トイレ、バリアフリー対応

- ・エレベータの設置を検討し、誰でも利用しやすい施設を目指す。
- ・また、トイレの配置についても、誰でも利用しやすい配置へ見直しを行う。